

Ⅲ 教育委員会点検・評価書（平成26年度事業）

1 教育委員の活動

(1) 概要

浦添市教育委員会は5人の委員で組織されています。

委員は、毎月1回の定例会と必要に応じ、臨時会へ出席し、付議された案件について、審議等を行っています。

また、学校や地域行事等への積極的参加や、教育委員会連合会を通して、他市町村教育委員会の情報収集教育行政に関する諸問題を研究討議し、浦添市の教育行政の発展のために努めています。

(2) 教育委員名簿

(平成27年3月31日現在)

役職名	氏名	任期
委員長	平良寛吉	平成23年4月1日～平成27年3月31日
委員長職務代理者	多喜和彦	平成24年10月1日～平成28年9月30日
委員	与儀啓子	平成25年4月20日～平成29年4月19日
委員	胡宮なりえ	平成26年10月1日～平成30年9月30日
教育長	池原寛安	平成25年5月31日～平成29年5月30日

(3) 教育委員の活動状況

	内容	件数
1	教育委員会の会議（定例会・臨時会）	26
2	教育委員の資質向上（研修会等）	11
3	学校訪問	24
4	学校行事（儀式的行事・体育的行事）	11
5	各種行事（大会等）	54

(4) 教育委員会の会議

- ① 毎月1回の定例会と14回の臨時会が開催された。
- ② 会議は委員一人ひとりの自覚と姿勢が問われるので5分前行動を実践した。
- ③ 会議資料も事前に配布され、事務局からの詳しい説明によって話し合いを深めることができた。
- ④ 会議における審議は、事務局の提案を迫認するのではなく、活発に意見を述べあい、審議を深めることができた。議案によっては継続審議がなされた。
- ⑤ 教育長報告は丁寧になされていたが、さらに教育委員会各部の活動状況の内容を適時報告していただきたい。
- ⑥ 会議は公開が原則だが、傍聴人が皆無の状況である。顔の見える委員会になるよう努める必要がある。
- ⑦ 議事の資料については、1週間前までに届けてもらいたい。

(5) 教育委員の相互連携と資質向上

本市教育委員の相互連携は委員会や行事ごとに深まり、良好な関係を維持した。また、委員会や行事ごとに資質の向上が感じられた。

① 第59回沖縄県市町村教育委員会連合会定期総会並びに研修会

期日：平成26年5月15日（木）～16日（金）

会場：金武町中央公民館 大ホール

*1日目 13:00～17:00

- ・総会 議案審議、功労者表彰、その他
- ・講演会：テーマ：「子どもの心・意欲を育てる『学力向上』とは？」
- ・講師：島袋 恒男 氏（国立大学法人 琉球大学教育学部教授）
- ・情報交換会

*2日目 9:00～12:00

研修会・分科会

- ・第1分科会

テーマ：「沖縄振興特別推進交付金の活用状況と成果及び課題について」

- ・第2分科会

テーマ：「全国学力学習状況調査結果の活用方法について」

- ・第3分科会

テーマ：「地域、社会総がかりで実践する子どもを育成する取り組みについて」

情報交換会や懇親会、また3分科会では各市町村教育委員の情報意見交換会が行われ相互連携と資質向上等が図られた。

② 平成 26 年度沖縄県市町村教育委員研修会

期日：平成 26 年 10 月 3 日（金）13：00～16：45

会場：パレット市民劇場

内容：研修：「教育委員会制度改革について」

講師：堀野 昌三 氏（文部科学省初等中等教育局企画官）

研修：「教育生態学の探訪」

講師：根路銘 国昭 氏（有限会社 生物資源研究所所長）

③ 平成 26 年度那覇地区市町村教育委員会連合会、協議会、市町村教育委員、教育長研修会

① 第 1 回那覇地区市町村教育委員会連合会・那覇地区市町村教育長協会

期日：平成 26 年 10 月 3 日（金）16：45～

会場：那覇市役所 10 階会議室

内容：総会・議案審議、事務連絡、他

次年度 5 月に行われる第 60 回沖縄県市町村教育委員会連合会研修会でのテーマ（案）の検討や他市町村教育委員との二学期制と混合名簿等についての情報交換・懇親会が行われ相互連携と資質向上等が図られた。

② 第 2 回那覇地区市町村教育委員会協議会

期日：平成 27 年 2 月 10 日（火）11：30～

会場：ホテルロコア那覇 2 階 アレッタ

内容：・沖縄県市町村教育連合会第 3 回理事会の報告
・情報交換

③ 平成 26 年度市町村教育委員会教育委員・教育長研修会

期日：平成 27 年 2 月 10 日（火）13：00～17：00 県庁 4 階講堂

内容：講話：沖縄県教育委員会教育長・諸見里 明 氏

<各課等説明>

- ・地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正に伴う対応について
- ・新たな教職員評価システムについて
- ・沖縄県就学指導委員会について
- ・公立学校への特別支援学校分教室の設置について
- ・学力向上、生徒指導等について
- ・家庭教育力促進「やーなれー」事業について

他市町村教育委員との情報交換・懇親会が行われ相互連携と資質向上等が図られた。

(6) 学校訪問

① 合同訪問（浦添市立小・中学校）

- 成果 ① 学校訪問のテーマを「激励訪問」とし、「全国学力学習状況調査が、全国 24 位と躍進したことに対する感謝とねぎらい」という初期の目的が達成できた。
- ② 学習向上推進計画の実践経過や今後の予定、基礎力定着のための時間確保に向けた校時表の見直し、授業に関連した家庭学習の工夫、学校紹介のリーフレットなどの提供もあり、校長・教頭のリーダーシップのもと、幼児児童生徒に対する熱心な取り組みと熱意がしっかり把握できた。
- ③ 児童生徒の活躍や長期欠席児童生徒についても実態把握ができた。また、地域・家庭・学校の具体的な連携の方策についても知ることができた。
- 課題 ① 学校訪問で知りえた内容や要望を教育委員会の事業に速やかに生かすために「改善計画リスト」を作成し実施状況を把握する必要がある。学校訪問の PDCA の策定が必要である。
- 感想 ① 掲示物や表記などは、幼児児童生徒の興味関心を意図した内容で感銘を受けた。小学校では英語表記がいたるところにあり英語教育の積極的な実践と推進が垣間見られた。
- ② 職員のためのコンプライアンス行動計画が策定され、職員の規律の遵守と職員の環境づくりを意図した小学校がある。他校へも広めていただきたい。

② 指定研究、指定推進園研究発表会

（浦城・港川幼稚園、宮城・当山・沢岬小学校、浦添中学校）

- 成果 ① 研究体制が確立され練られた授業実践は、幼・小・中ともに教師の力量の高さが伺え、指定研究の成果の大きさとその継続の必要性が確認された。
- ② 小・中学校ともに研究テーマは、全国学力学習状況調査や県到達度調査の結果分析の課題解決に向け設定され、全学年を見通した指導計画で授業実践されていた。
- ③ 幼稚園では「友だちとの関わり中で、自己発揮する幼児・遊びを楽しむ幼児の育成」を目指した。活動の変化を見逃さず適切な援助が見られた。
- 課題 ① 教職員の異動で素晴らしい研究を他校にも広め、さらに転入教員にも研究の成果を伝えるとともに、指定研究は限られた園・学校なので、市内の園・学校からの参加者を増やし研究の成果を多くの方が共用できるよう、継続発展させる方策を検討したい。
- ② 教師の研究成果は、家庭教育や家庭学習に活かせるので曜日の設定や学校行事とセットとするなど工夫し、保護者の参観もさらに増やしたい。
- 感想 ① 言語活動の充実や工夫された発問等で、幼児児童生徒の積極性が引き出

され、思考力・判断力・表現力の育成が如何に重要であるか再認識した。

- ㊦ 研究授業ではあまり ICT 機器の活用が見られないように感じた。板書時間の短縮や児童生徒の意見交換、発表等の学び合いのためにも積極的な活用を期待する。

(7) 学校行事への参加（儀式的行事・体育的行事）

① 儀式的行事（卒園・卒業式）

- 感想
- ㊦ 最後までしっかりお話を聞き全員で堂々と群読する園児に、幼児教育の大きな成果が見られた。小・中学校では卒業生、在校生共にマナーを守り、参加者全員が祝福の喜びに満ち溢れる夢と希望のある行事となった。
 - ㊧ 民生委員や自治会長、議員、地域の方々の列席から地域連携が伺えた。
 - ㊨ 卒業生に送る花束やレイなどに華美と個人差を感じた。校門近くで商品販売をしている業者も見られ、関係機関と連携し対策を検討する必要がある。
 - ㊩ 「思い出のスクリーン」は、自分や友達の姿に歓声が上がった。本人も保護者も成長を確認することができる良い演出である。

② 体育的行事（運動会）

- 感想
- ㊦ 種目の大幅見直しで練習時間の軽減が図られており、お互いに助け合う姿が見られた集団演技等、一人ひとりが主役となりたくましく成長したことが伺える。
 - ㊧ 準備体操がうちな一ぐちで工夫されている等、地域と学校、保護者の連携の図れる行事となっている。
 - ㊨ 夏季開催の場合は、熱中症対策について更なる配慮が求められる。

(8) 各種行事、大会への参加

どの行事も綿密な計画で実施されている。

① 浦添市スーパー・コミュニケーションル・スクール 2 期生入学式

本市独自の特色ある事業の一つである。事業の魅力を更に高め定員確保を模索し、学びの機会を活かしてもらいたい。

② てだこ市民大学 7 期生入学式

本市の人材育成の場である市民大学は、年齢に関係なく学ぶ意欲のある入学生の希望に満ちた顔は素敵であった。卒業生は地域のリーダーとして活躍しており、2年後の活躍が楽しみである。

③ エコアイランドに向けた人材育成及びキャリア教育事業

本市独自の特色ある事業の一つで、2泊3日の自然体験・野外体験・農業・漁業体験を通して、チームワーク・環境保全の大切さ、働くことの理解を深めるなど、多くのことを学び、たくましく生きる力が培われている。教育委員も東村に出向いて、子どもたちを激励した。

④ 英語教育発表会

この大会は、小中学校の英語教育の成果を発表する場であり、先生方の熱心な指導によってコミュニケーション能力が高まり、将来子どもたちが国際人として世界にはばたくことを期待できる。

⑤ 浦添市・中国泉州市小中学生交流会

本市の特色ある教育活動の一つである。両市の児童生徒が隔年毎に訪問しあい、お互いの歴史・文化などに触れつつ交流と相互理解を深め、国際性豊かな人材育成に貢献している。また、てだこ祭りでは中国泉州市の子ども達も参加して市民と文化交流できた。

⑥ 教育委員会表彰式

本市の教育の日に、多くの児童生徒・市民の活躍を激励する表彰は、やる気と夢を与えている。今回は個人 9 人、団体 4、善行児童生徒の個人 44 人、団体 20 の表彰を行い激励することができた。

⑦ 教育研究所成果報告会・修了式

4 人の研究の先生方がそれぞれのテーマをもって研究され、真摯に取り組まれたことを高く評価する。プロの教師としての学識、力量、指導技術等研究を通して磨き上げた成果を広く教育界に還元し、子どもたちの指導にご尽力いただきたい。

⑧ 成人式

出身中学校ごとに、中学校時代のスナップ写真や恩師による祝福のメッセージが紹介され、温かい激励の言葉に感動した。自らの判断と責任ある行動を実践し、成人としての自覚と使命感を持って浦添市の将来を担う立派な大人として、自信と誇りを持ってはばたいてもらいたい。

(9) その他の意見

平成 26 年度中に教育委員会において、職員・教職員等に対する適正かつ迅速な処分をおこなった。

また、これらの事案に対し、再発防止の対応等に努めた。行政の綱紀粛正が求められる中、日頃より職員等の綱紀粛正に更に努めている。